



2019年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2019年1月31日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <https://www.ds-pharma.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 エグゼクティブ コミュニケーションオフィサー (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300

四半期報告書提出予定日 2019年2月1日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	346,871	△2.3	55,863	△28.4	46,831	△33.9	39,969	△8.9	39,969	△8.9	56,061	0.3
2018年3月期第3四半期	355,155	—	78,008	—	70,901	—	43,892	—	43,892	—	55,874	—

(参考) 税引前四半期利益 2019年3月期第3四半期 53,162 百万円 2018年3月期第3四半期 73,768 百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益(調整項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	100.60	—
2018年3月期第3四半期	110.48	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	830,065	498,003	498,003	60.0	1,253.48
2018年3月期	809,684	452,723	452,723	55.9	1,139.50

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	9.00	—	19.00	28.00
2019年3月期	—	9.00	—		
2019年3月期(予想)				11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	467,000	0.0	77,000	△15.0	53,000	△39.9	35,000	△34.5	35,000	△34.5	88.10

(参考) 税引前利益 通 期 55,000 百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（重要な会計方針）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期第3四半期	397,900,154株	2018年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2019年3月期第3四半期	603,601株	2018年3月期	601,983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期第3四半期	397,297,342株	2018年3月期第3四半期	397,299,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社グループは、前連結会計年度末（2017年度）より連結財務諸表の作成において国際会計基準（以下「IFRS」）を適用しております。なお、前第3四半期連結累計期間の財務数値につきましても、IFRSに従って表示しております。
- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。
- ・当社は、2019年1月31日（木）に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前連結会計年度末より国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しており、前第3四半期連結累計期間の数値をIFRSに組み替えて比較分析を行っております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものととなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上収益	3,552	3,469	△83	△2.3
コア営業利益	780	559	△221	△28.4
営業利益	709	468	△241	△33.9
税引前四半期利益	738	532	△206	△27.9
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	439	400	△39	△8.9

■ 売上収益は3,469億円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

当社グループの収益の柱である非定型抗精神病薬「ラツーダ」や抗てんかん剤「アプティオム」の増加等により北米セグメントは増収となりました。一方、薬価改定や長期収載品の売上減少の影響により日本セグメントが減収となったこと等から、連結合計では減収となりました。

■ コア営業利益は559億円（前年同四半期比28.4%減）となりました。

日本セグメントにおいて薬価改定の影響等により売上総利益が減少したことに加え、北米セグメントにおいて販売費及び一般管理費が増加しました。また、前第3四半期連結累計期間には、販売権の譲渡に伴うその他の収益の計上がありました。当第3四半期連結累計期間には、このような要因がないことから、コア営業利益は減益となりました。

■ 営業利益は468億円（前年同四半期比33.9%減）となりました。

コア営業利益の減益に加え、事業構造改善費用の増加等により、営業利益はさらに減益となりました。

■ 税引前四半期利益は532億円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

受取利息の増加に加え、当第3四半期連結会計期間末は、為替換算レートが前連結会計年度末に比べ、米ドルに対し円安に振れたことから当社が保有する外貨建て金融資産において為替差益が発生しました。これらの結果、金融収益が増加しました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は400億円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は11.5%となりました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

【日本】

■ 売上収益は1,006億円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

2型糖尿病治療剤「トルリシティ」や「シュアポスト」等の売上は増加しましたが、薬価改定に加え、新たに後発品が発売された高血圧症治療剤「アイミクス」をはじめ長期収載品の売上減少の影響が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント利益は232億円（前年同四半期比33.9%減）となりました。

薬価改定による売上総利益の減少等により、大幅な減益となりました。

【北米】

■ 売上収益は1,906億円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

「ラツード」が堅調に推移したことに加え、「アプティオム」の売上が伸長したこと等から、増収となりました。

■ コアセグメント利益は825億円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

売上総利益は増加しましたが、販売費及び一般管理費の増加が大きく減益となりました。

【中国】

■ 売上収益は163億円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

主力品であるカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の売上が増加したことにより増収となりました。

■ コアセグメント利益は67億円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

売上総利益が増加したことにより、増益となりました。

【海外その他】

■ 売上収益は102億円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

東南アジアにおける「メロペン」の販売は増加しましたが、その他の輸出が減少したこと等から、全体では微減となりました。

■ コアセグメント利益は30億円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

売上原価率の改善により、増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、これらの売上収益は291億円（前年同四半期比13.9%減）、コアセグメント利益は23億円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

資産については、非流動資産は、のれんや無形資産が為替換算等により増加したことに加え、その他の金融資産が増加した結果、前連結会計年度末に比べ208億円増加しました。

流動資産は、棚卸資産や営業債権及びその他の債権が増加しましたが、現金及び現金同等物やその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ微減となりました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ204億円増加し、8,301億円となりました。

負債については、引当金やその他の金融負債が増加しましたが、社債の償還等による有利子負債の減少に加え、営業債務及びその他の債務や未払法人所得税が減少した結果、前連結会計年度末に比べ249億円減少し、3,321億円となりました。

資本については、主に利益剰余金とその他の資本の構成要素における在外営業活動体の換算差額等が増加した結果、前連結会計年度末に比べ453億円増加し、4,980億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は60.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益の減少や営業債務及びその他の債務の減少等によるキャッシュの減少要因に加え、法人所得税の支払額が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間に比べ356億円収入が減少し、192億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出は増加しましたが、無形資産や投資の取得による支出が減少したこと等により、前第3四半期連結累計期間に比べ29億円支出が減少し、42億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還や配当金の支払額の増加等により、前第3四半期連結累計期間に比べ102億円支出が増加し、276億円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物の為替換算による影響額を加えた結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,396億円となり、前連結会計年度末に比べ82億円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2018年5月11日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、当社の主力商品の一つである非定型抗精神薬ラツダの用途特許等の侵害を理由として、当社の米国子会社と共同で、米国食品医薬品局（FDA）に後発品申請を行った複数の後発品メーカー（全16社）に対し、2018年2月に米国ニュージャージー州連邦地方裁判所に特許侵害訴訟（以下「本訴訟」）を提起し、本訴訟の追行と並行して、同裁判所の関与の下、被告各社との間で和解等の協議を進めておりましたが、2018年12月3日付けをもって本訴訟の全ての被告との間で訴訟が終結しました。また、2018年8月から10月に追加で提起した3件の特許侵害訴訟（以下「追加訴訟」）については、2件が和解により終結しました（本書の日付現在、1件がまだ係属中）。本訴訟および追加訴訟の被告であった複数の後発品メーカーは、和解契約の条項に従い、2023年2月20日以降、「ラツダ」の後発品を販売することができます。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上収益	355,155	346,871
売上原価	88,426	85,181
売上総利益	266,729	261,690
販売費及び一般管理費	139,120	149,457
研究開発費	63,062	61,969
その他の収益	9,290	644
その他の費用	2,936	4,077
営業利益	70,901	46,831
金融収益	3,230	6,497
金融費用	363	166
税引前四半期利益	73,768	53,162
法人所得税	29,876	13,193
四半期利益	43,892	39,969
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	43,892	39,969
四半期利益	43,892	39,969
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	110.48	100.60

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期利益	43,892	39,969
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	9,241	7,537
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	2,710	8,532
キャッシュ・フロー・ヘッジ	31	23
その他の包括利益合計	11,982	16,092
四半期包括利益合計	55,874	56,061
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	55,874	56,061
四半期包括利益合計	55,874	56,061

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	58,204	59,868
のれん	95,097	99,367
無形資産	189,681	194,773
その他の金融資産	70,993	84,102
未収法人所得税	2,453	2,394
その他の非流動資産	3,067	3,216
繰延税金資産	41,608	38,188
非流動資産合計	461,103	481,908
流動資産		
棚卸資産	60,169	64,987
営業債権及びその他の債権	112,982	121,479
その他の金融資産	22,066	16,308
未収法人所得税	419	520
その他の流動資産	5,170	5,304
現金及び現金同等物	147,775	139,559
流動資産合計	348,581	348,157
資産合計	809,684	830,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	30,940	28,720
その他の金融負債	88,427	94,491
退職給付に係る負債	20,700	20,752
その他の非流動負債	6,551	5,210
繰延税金負債	95	84
非流動負債合計	146,713	149,257
流動負債		
社債及び借入金	16,460	2,960
営業債務及びその他の債務	58,708	52,013
その他の金融負債	6,278	9,169
未払法人所得税	14,368	3,592
引当金	84,433	90,157
その他の流動負債	30,001	24,914
流動負債合計	210,248	182,805
負債合計	356,961	332,062
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
自己株式	△669	△674
利益剰余金	396,037	425,230
その他の資本の構成要素	19,095	35,187
親会社の所有者に帰属する持分合計	452,723	498,003
資本合計	452,723	498,003
負債及び資本合計	809,684	830,065

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2017年4月1日残高	22,400	15,860	△667	357,769	18,797	—
四半期利益	—	—	—	43,892	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	9,241	—
四半期包括利益合計	—	—	—	43,892	9,241	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,946	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	14	△14	—
所有者との取引額合計	—	—	△1	△7,932	△14	—
2017年12月31日残高	22,400	15,860	△668	393,729	28,024	—
2018年4月1日残高	22,400	15,860	△669	396,037	31,735	—
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	348	—	—
会計方針の変更を反映した2018年4月1日残高	22,400	15,860	△669	396,385	31,735	—
四半期利益	—	—	—	39,969	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,537	—
四半期包括利益合計	—	—	—	39,969	7,537	—
自己株式の取得	—	—	△5	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△5	△11,124	—	—
2018年12月31日残高	22,400	15,860	△674	425,230	39,272	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ			
2017年4月1日残高	△1,871	△20	16,906	412,268	412,268
四半期利益	—	—	—	43,892	43,892
その他の包括利益	2,710	31	11,982	11,982	11,982
四半期包括利益合計	2,710	31	11,982	55,874	55,874
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1
配当金	—	—	—	△7,946	△7,946
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△14	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△14	△7,947	△7,947
2017年12月31日残高	839	11	28,874	460,195	460,195

2018年4月1日残高	△12,619	△21	19,095	452,723	452,723
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	348	348
会計方針の変更を反映した2018年4月1日残高	△12,619	△21	19,095	453,071	453,071
四半期利益	—	—	—	39,969	39,969
その他の包括利益	8,532	23	16,092	16,092	16,092
四半期包括利益合計	8,532	23	16,092	56,061	56,061
自己株式の取得	—	—	—	△5	△5
配当金	—	—	—	△11,124	△11,124
所有者との取引額合計	—	—	—	△11,129	△11,129
2018年12月31日残高	△4,087	2	35,187	498,003	498,003

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	43,892	39,969
減価償却費及び償却費	9,399	10,473
条件付対価公正価値の変動額	2,026	5,458
受取利息及び配当金	△2,009	△2,634
支払利息	311	142
法人所得税	29,876	13,193
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△14,472	△6,352
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△520	△1,523
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,932	△7,531
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	468	31
引当金の増減額 (△は減少)	10,527	1,972
その他	△13,020	△12,854
小計	68,410	40,344
利息の受取額	640	1,727
配当金の受取額	1,239	828
利息の支払額	△223	△119
法人所得税の支払額	△15,330	△23,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,736	19,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,590	△7,745
有形固定資産の売却による収入	379	1,450
無形資産の取得による支出	△6,000	△2,763
投資の取得による支出	△6,205	△2,234
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	2,152	7,430
事業譲渡による収入	9,495	—
その他	△3,300	△352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,069	△4,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△34,500	△3,500
長期借入れによる収入	34,500	—
長期借入金の返済による支出	△8,700	△2,220
社債の償還による支出	—	△10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△777	△774
配当金の支払額	△7,936	△11,114
その他	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,414	△27,613
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	30,253	△12,676
現金及び現金同等物の期首残高	105,603	147,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	919	4,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	136,775	139,559

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月公表)及び「IFRS第15号の明確化」(2016年4月公表)(合わせて以下「IFRS第15号」)を適用しております。IFRS第15号の適用にあたっては、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当社グループは、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約の識別

ステップ2：契約における履行義務の識別

ステップ3：取引価格の算定

ステップ4：履行義務への取引価格の配分

ステップ5：企業の履行義務の充足による収益の認識

当社グループは、医療用医薬品等の製商品の販売による収益(製商品の販売)並びに技術導出契約等の締結に伴う契約一時金、マイルストーン収入及びロイヤルティ収入による収益(知的財産権収入)を主な収益としており、それぞれの収益認識基準は、以下のとおりであります。

(1) 製商品の販売

製商品の販売は、製商品を引渡した時点において顧客が当該製商品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しており、当該製商品の引渡時点で収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、返品、値引き及び割戻し等を控除した収益に重大な戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲内の金額で算定しております。

(2) 知的財産権収入

契約一時金は、技術導出契約等を締結し、開発権及び販売権等を第三者に付与した時点で収益を認識しております。

マイルストーン収入は、契約上定められたマイルストーンが達成された時点で収益を認識しております。

ロイヤルティ収入は、契約相手先の売上収益等を基礎に算定された技術導出契約等における対価であり、契約相手先の売上収益等の発生と履行義務の充足のいずれか遅い時点で収益を認識しております。

なお、IFRS第15号の適用による当社グループの業績及び財政状態に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

① 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	112,957	182,366	15,441	10,585	321,349	33,806	355,155
セグメント間の内部売上 収益	55	—	—	—	55	57	112
合計	113,012	182,366	15,441	10,585	321,404	33,863	355,267
セグメント利益 (コアセグメント利益)	35,099	85,839	5,794	2,908	129,640	2,229	131,869

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

② 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	100,646	190,612	16,331	10,180	317,769	29,102	346,871
セグメント間の内部売上 収益	55	—	—	—	55	25	80
合計	100,701	190,612	16,331	10,180	317,824	29,127	346,951
セグメント利益 (コアセグメント利益)	23,188	82,502	6,661	3,002	115,353	2,316	117,669

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

売上収益	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメント計	321,404	317,824
「その他」の区分の売上収益	33,863	29,127
セグメント間取引消去	△112	△80
要約四半期連結財務諸表の売上収益	355,155	346,871

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメント計	129,640	115,353
「その他」の区分の利益	2,229	2,316
セグメント間取引消去	20	22
研究開発費(注)	△63,062	△61,969
事業譲渡益等	9,194	124
その他	△13	17
コア営業利益	78,008	55,863
条件付対価公正価値の変動額	△4,280	△5,458
その他の収益	109	503
その他の費用	△2,936	△4,077
要約四半期連結財務諸表の営業利益	70,901	46,831

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。